

被ばく低減対策好事例集

場 所		分 類		番 号	28-08
原子炉建屋内	RB	TB 2	1 時間		
タービン建屋内	TB		2 距離		
R ZONE	R		3 遮へい		
Y ZONE	Y		4 線源の除去		
G ZONE	G		5 遠隔、自動化		
その他 ()	Z		6 汚染拡大防止		
			7 その他		
内 容	遠隔装置採用による距離の確保				
作業部位	1号機 タービン建屋 1階				
概 略	遠隔油圧カッターを使って、タービン建屋地下の床ドレンピット干渉物撤去をタービン建屋1階から実施した。				
評 価 (定性・定量)	効 果		対策前	対策後	
		被ばく線量(mSv)	※10,079	※2,984	
		人工数(人日)	--	--	
事例詳細	※28-08~10合計の値				
対策前	タービン建屋地下は高線量率エリアであり、干渉物撤去を作業者が行うには大量の被ばくを要すると推測された。				
対策内容	遠隔油圧カッターを使用し、作業者は1階の低線量率エリアから操作を行った。また、作業者位置には、手すりに追加遮へいを設置し、環境線量率の低下に努めた。				
<p style="text-align: center;">手すりに追加遮へいを実施</p>					